



こたけ

議会だより

第 220 号

平成30年1月1日

- 発行 小竹町議会
福岡県鞍手郡小竹町
TEL 09496-2-1967
FAX 09496-2-1140
- 編集 議会広報編集委員会
- 印刷 マツオ印刷株式会社

町制

90周年 特集号



小竹町民まつり 2017 小竹ミュージックカンパニーによる演奏



小竹町民まつり 2017 の風景



町制90周年によせて

小竹町議会議長 和田 賢二郎

新年あけましておめでとうございませう。町民の皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昭和3年1月1日に旧勝野村を小竹町と改称して、本年で90周年の記念の年となりました。

この90周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことは、町民の皆さまをはじめ町政発展のため、ご尽力くださいました関係各位の皆さまのご支援とご協力の賜であると深く敬意を表し、ここに90周年特集号を編集し、発刊に至りました。

本町は、福岡県のほぼ中央にあり、町を南北に貫流する遠賀川沿いに開けた直方平野の南部に位置し、その昔から長崎街道を擁す交通の要衝を誇る町として、前途洋々とスタートをいたしました。

我がふるさと小竹町は、90歳の「卒寿」を迎えたところでありませう。

90年という長い道のりには、自然災害や経済不況など多くの試練や苦難もありましたが、先人の英知と町民の皆さまの努力により、古くから農業と石炭産業を基幹産業として発展してま

いりました。

町制施行から、今日までを顧みますと、各公共施設の整備拡充、道路・公園・下水道など生活環境の改善、産業基盤の構築、健康づくりや高齢化社会に対応した福祉、文化の推進などを重点に住み良いまちづくりを進めてまいりました。

最近、我が国においては、少子高齢化も急速に進んでいます。本町もその例外ではありません。

90周年を契機に、より一層、町民の皆さまと議会、行政が一体となって、小竹町に生まれたこと、住んでいることに自信と誇りを持ち、「人がつながり、心をつなぎ、未来へつなげる」小竹町を目指し、地方創生の先駆けとなるよう、安全・安心なまちづくり、人口減少に対応した定住対策など、より良いまちづくりに邁進してまいりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

町民の皆さまのご健勝、ご多幸を祈念しご挨拶いたします。

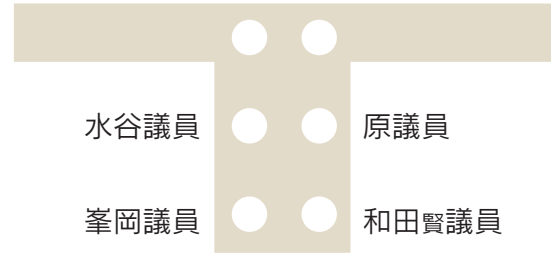


議会運営委員会



和田明委員長

吉野慎副委員長



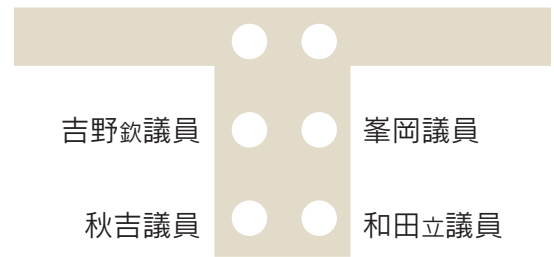
議会の運営・議会の会議規則、委員会条例などや、議長の諮問に関する事項を取り扱う。

文教厚生委員会



水谷委員長

和田明副委員長



教育、町立病院、水道、福祉、環境に関する事務などの調査、議案・請願等を審査する。

総務産建委員会



吉野慎委員長

原副委員長



農政、商工業、土木、建築、総合計画、行財政の運営、公有財産に関する事務などの調査、議案・請願等を審査する。

現職議員紹介

任期：平成26年12月15日から平成30年12月14日まで



鍋高塔 島岸野 局副町 長長	(後列右から)	吉宮大秋谷和須 野野安吉川田堯 欽一美俊龍立教育長 也男代英児美	(中列右から)	原吉和松峯水和 野田尾岡谷田 準慎賢町日出男明 一一郎長均男	(前列右から)
-------------------------	---------	---	---------	---	---------

(平成26年12月22日撮影)

前期議員紹介

任期：平成22年12月15日から平成26年12月14日まで



佐谷上 々川野 主任局係 主事長	(後列右から)	清広大原吉宮須 水瀬安野野堯 渥早美準慎一教育長 美美代一一男	(中列右から)	峯古野山和和吉 岡森田本田田野 博剛町賢二明 均司敏長郎也	(前列右から)
---------------------------	---------	--	---------	--	---------

(平成22年12月30日撮影)

10年のあゆみ — 平成20年～平成30年

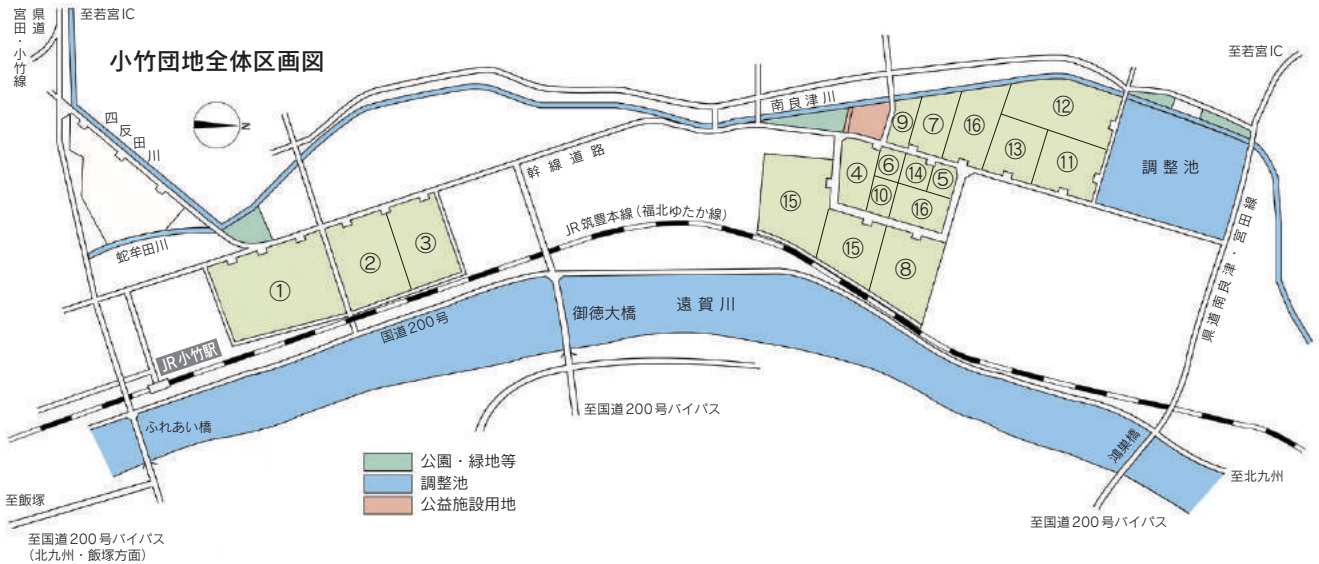
主なできごと	
20年 3月21日	老人保健制度から後期高齢者医療制度に変更 乳幼児医療費4歳未満まで無料化
3月31日	小学校の用務員制度廃止
4月 1日	南小学校学童保育開始
9月18日	教育長に須堯豊年氏・・・議会同意
9月18日	ふるさと応援基金条例制定※

※小竹町の特産品を返礼品として寄付者へ贈呈



ふるさと納税返礼品
小竹産米 と 自然薯

主なできごと	
21年 6月12日	福岡県町村議会議長会会長に野田剛敏氏選出
9月16日	副町長に松尾勝徳氏選出
22年 3月18日	企業誘致奨励条例を制定
4月 1日	雇用促進住宅を定住促進住宅に(町営住宅)
6月18日	ひまわり公園新設
12月15日	町長・町議会選挙(12名)・・・町長に松尾勝徳氏当選
22日	議長に野田剛敏氏選出



立地企業

①	一井工業株式会社	⑨	株式会社イガワテック
②	太平洋工業株式会社	⑩	株式会社金剛製作所
③	九州小島株式会社	⑪	久留米運送株式会社
④	株式会社アーチ電工	⑫	株式会社バイテック
⑤	株式会社マクスエンジニアリング	⑬	株式会社ロジックス
⑥	生田川通商株式会社	⑭	株式会社安藤工業所
⑦	九州西濃運輸株式会社筑豊支店	⑮	株式会社ハローデイ
⑧	タカハタプレジション九州株式会社	⑯	コゲツ産業株式会社



「買い物支援用ワゴン車」

高齢者などの買い物等の支援のため、町内店舗と各地区との間を運行。希望する地区へワゴン車の貸出しも行っている。

	主なできごと
23年 3月17日	副町長に高岸和彦氏選出
4月 1日	小竹町立病院経営責任者変更 北小学校・西小学校学童保育開始
24年 4月 1日	下水道条例の制定
9月20日	教育長に須堯豊年氏・・・議会同意
25年 5月15日	買い物支援事業開始
6月14日	庁舎建設審議会条例の制定
10月13日	ふれあい運動会開催



一致団結 町民の絆を深める
「ふれあい運動会」

	主なできごと
26年 1月 1日	街灯をLEDに変更
3月12日	トライアル小竹店開店
4月 1日	蛇牟田川排水機場完成
12月15日	町長・町議選・・・町長に松尾勝徳氏当選
22日	議長に和田賢二郎氏選出



「蛇牟田川排水機場」

洪水対策の一環として、防衛省予算により飯塚駐屯地周辺障害防止対策事業で設置。



買い物客で賑わいを見せる
「トライアル小竹店」



小竹こども園開園

主なできごと	
27年 4月 1日	遠賀川河川公園条例制定 副町長に高岸和彦氏選出 認定こども園開園
9日	中学校の完全給食実施
19日	小竹町庁舎建設特別委員会設置 小竹町議員定数調査特別委員会設置
6月 8日	福岡県町村議会議長会副会長に和田賢二郎氏選出 福岡県自治振興会副会長に和田賢二郎氏選出
10月15日	中学校空調設備設置
30日	小学校空調設備設置



小竹中学校完全給食開始



小竹駅まで続く遊歩道
遠賀川河川公園

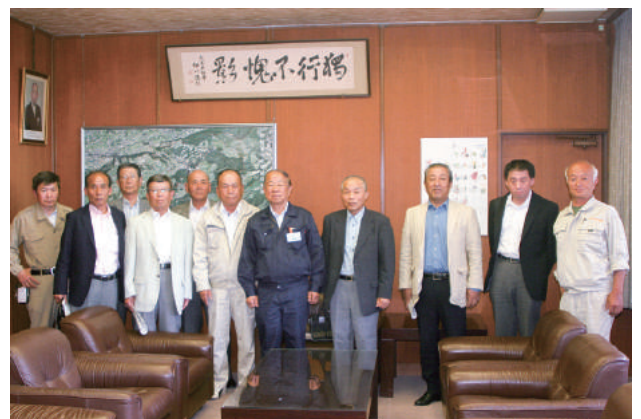
主なできごと	
28年 1月 1日	マイナンバー制度開始
3月17日	小竹町議会改革調査特別委員会設置
6月 2日	熊本地震被災地・西原村へお見舞い
9月15日	教育長に須堯豊年氏・・・議会同意
29年 1月 1日	こたけ創造舎開設
10月 3日	九州北部豪雨被災地・東峰村へお見舞い



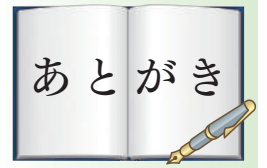
マイナンバーカード



お試し居住体験施設と
町民の交流施設としての機能を兼ね備えた
「こたけ創造舎」



被災地の熊本県阿蘇郡西原村へ
義援金を届ける



町制九十周年おめでとうございます。

本町は、財政が厳しいながらも町民の皆さま方と一緒に協働の町づくりを築いてまいりました。

念願の大型スーパーができ、工場団地も全てに企業が進出し、小・中学校に空調設備も整い、中学校にも待ちに待った完全給食が実施されました。

街灯はLEDに変わり町全体が明るくなつて、環境は整ってきました。

しかし、人口は減り続け、学校に入学してくる児童・生徒も少なくなり、高齢者が人口の半数余りを占める町となりましたが、元気な高齢者も大勢います。

これから百周年を目指して、小竹駅西口開発・新庁舎の建設・七福町営団地の建て替えなど夢は多くあります。

老若男女一緒に手をたずさえて希望あふれる町をつくっていききたいと思っています。

皆さま方のお声を十分に反映できる町づくりに、議員一同努力を重ねてまいります。

これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

(議会広報編集委員会
委員長 大安美佐代)



町花 ひまわり

議会広報編集委員会



(前列右から)

峯岡 均

大安 美佐代

和田 賢二郎

谷川 龍児

水谷 日出男

(後列右から)

事務局

梶原 直之

組坂 隆



町木 きんもくせい